

# 関東良陵だより

## 東北大学関東良陵同窓会

### 春季総会のご案内

薫風の候、会員各位には、益々ご清栄のことと大慶に存じ上げます。

さて、東北大学良陵同窓会関東連合会春季総会を下記により開催したいと存じますので、なにとぞ万障お繰り合わせのうえ、ご出席を賜りたくご案内申し上げます。

今回の総会では、特別講演を荒井他嘉司先生（昭和三十六年卒、国立災害センター名誉院長、抗研外科出身 本会監事）にお願い致しました。テーマは先生が長年専門とされてきた呼吸器外科の手術とそれを裏付ける基礎的研究、更には最近取り組んで居られる新しいテーマなどについて、ご講演をして頂きます。（本紙二面に「講演要旨掲載」）

懇親会のアフターディナーコンサートは、初めてのご出演サクソフオーン奏者の丹沢誠二さんをお迎えしてポピュラーな名曲（曲目等後述）、をお楽しみいただく予定になっております。

新緑の季節にふさわしい音楽も楽しい充実した総会になるものと思いますので、興様はじめご家族の皆様ともども、ご出席くださいますよう、皆々様のお越しを心からお待ち申し上げます。

東北大学良陵同窓会

関東連合会 会長

押田茂實

#### 総会プログラム

- 一、期 日 平成二十九年六月十七日（土）
  - 二、場 所 市ヶ谷私学会館アルカディア  
電話 03 (3261・9921)  
JR・地下鉄市ヶ谷駅から徒歩二分
  - 三、受付開始 午後四時より
  - 四、総 会 午後四時三〇分より開会  
開会の辞  
会長挨拶  
経過報告  
各役員報告・その他  
閉会の辞
  - 五、特別講演 「3DCを用いたLiving anatomy」  
荒井他嘉司先生（昭和三十六卒）  
午後六時より開会
  - 六、懇親会  
アフターディナーコンサート  
サクソフオーン丹沢誠二さん  
ピアノ菅野詩織さん  
親しみやすい名曲の数々を演奏されます。
  - 七、会 費 会員 一〇〇〇〇円  
ご家族 五〇〇〇円（一人）
  - 八、出席申込み 同封の振替用紙に会費と共に申込み下さい。
- 会費納入のお願い 本総会会費及び年会費のご納入を四ページ記載要領にてお願いします。

総会特別講演要旨

3DCCTを用いた

Living anatomy

— 肺外科医の歩みと挑戦

荒井他嘉司

(昭和36年卒)

近年、X線画像処理の急速な進歩に伴い、Living anatomy すなわち生体での臓器解剖が明らかにされるようになり、医学教育や臨床に貢献する時代となりました。私の専門の呼吸器分野でも、気管支や肺動静脈の生きた状態での立体的な解剖が分かるようになりました。

肺区域解剖の知識は、手術を行う上で極めて重要であります。肺結核治療の主流が手術であった時代に、病巣が早期に発見されるようになると肺葉切除に代わって極限的切除すなわち区域

写真 荒井他嘉司先生



切除が盛んに行われるようになり、肺区域解剖への関心が高まりました。やがて肺の手術の主流は肺がんに移行しました。

肺癌の手術ではなるべく大きく切除すべきであるという時代が長年続いたため、結核時代に培われた区域解剖・区域切除の知識が忘れられていました。

近年、肺癌が早期に発見されるようになり、肺癌に対しての手術も胸腔鏡下手術、縮小手術へと変遷してきました。早期肺癌では縮小手術でも術後成績に変わりがないと言われるようになってきました。縮小手術すなわち肺区域切除が増えるにつれて、再び肺区域解剖の正確な知識が重要視されて来ました。しかし、呼吸器外科医が専門書で勉強している肺区域解剖学の知識は、六十年以上前に、屍体の摘出肺、あるいは手術切除肺の固定標本を用いての解剖から得られた知識であります。もともとは肺の区域解剖の本格的な研究は、1945年頃に始まる米国における研究と云えます。

これは胸部外科医が正確な知識のもとに肺の手術をしたいという要望から始まりました。ほぼ同じころ我が国でも屍体を用いた肺区域解剖とそれに基づく肺

区域切除の研究が結核予防会結核研究所で行われていました。それ以来、そのような研究は長年にわたりに行われておらず、この古い研究成果がパイプルのように延々と受け継がれてきました。しかもそれを二次元 すなわち平面図で勉強するしかありませんでした。複雑な立体的な肺の解剖を平面図で理解することはなかなか困難です。私は結核研究所出肺区域解剖のパイオニア二人に教えを受けました。今やIT時代です。私はコンピュータで肺の内部構造の立体図を作れないかと考え、十年前に独学でコンピュータグラフィックスの勉強を始めました。二年掛かりで色々なバリエーションについて立体図を作成して、2008年に日本初のDVD図譜として出版しました。

この立体図は肺3DCCT画像処理プログラムの開発グループが肺の立体構造を勉強するのに非常に役立つこととなりました。しかし、この立体図は先達の研究にしたがって行っています。急速に開発が進んできた3DCCT画像処理を用いた生体での区域解剖の観察を続けるうちに、私はこれまでの肺区域解剖との間にずれのあることに気づきました。そこで

生体での肺立体構造とこれまでの古い解剖知識との間のずれを明らかにし、生体での肺区域解剖を新しく体系化すべく、現在研究を進めています。この分野で3DCCT画像解析が臨床にどのようになり役に立つか、そして私がこの歳になりこの分野に興味を持ったかを話したいと思えます。

(本会監筆)

略歴 荒井他嘉司先生

昭和36・3 東北大学医学部卒業

同41・3 東北大学院(抗酸菌病研究所外科) 修了。医学博士

同41・8〜50・3 結核予防会結核研究所付属療養所外科

同51・平成5 国立療養所中野病院

同51・53 西ベルリン市 Heckerborn 病院留学

平成5・10 国立国際医療センター 部長 平成8 同副院長

同8・10 国立病院機構災害医療センター 院長兼同付属、昭和の森看護学校校長

同14・4 退官 国立病院災害医療センター 1名誉校長

主な学会活動 第20回日本呼吸器内視鏡学会総会会長

主な著書 肺切除術・局所解剖と手術手技 DVDで見る肺切除術(朝倉書店) 他 多数

勲章受賞 瑞宝中綬章 平成二十四年十一月

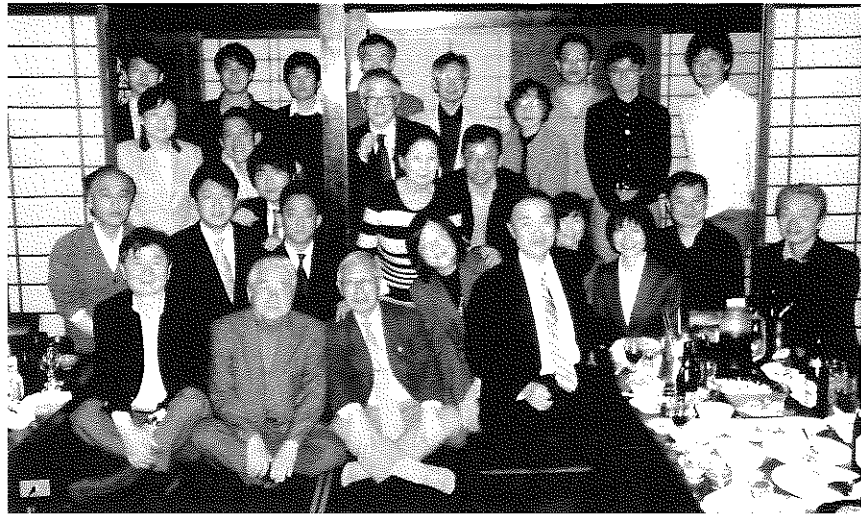
## 関東連合若手会開催

平成二十九年三月十一日(土)

東日本大震災から六年目を迎えるこの日、良陵会関東連合若手会が開かれた。関東連合の総会は、毎年六月に行われるものであるが、若手の参加が少なく、若手の活性化が求められていた。そこで新卒も含む、平成卒の若手などに声をかけ、再開三年目の若手会が実現した。

場所は飯田橋駅ビル最上階にある居酒屋『北海道』。

平成二十八卒一人、平成二十七年卒二人、平成二十六年卒二人、平成二十五年卒二人、その他、平成卒が六人とまずまずの成果であった。昭和卒世代からも、各大学の教授、准教授、各病院の病院長等が集まり、研修病院の事、入局のこと、研究の事などにアドバイスがなされ、有意義な会となった。総勢三十人の会であった。一同、一年後の再会を約して、お開きとなり、一部は二次会に参加した。(文責 昭和五十九年卒 岩瀬光)



笑顔で集う「若手会」の先生方  
(東京・飯田橋駅ビル 居酒屋「北海道」にて)

## 関東良陵役員会開催

良陵役員会は、平成二十九年四月六日(木)午後七時〜九時まで、東京・市ヶ谷アルカディア私学会館にて開催された。

当日の議題は

- ① 今後の方針 押田会長 去る三月十一日(土)に開催された若手会の報告・岩瀬幹事長
- ② 今後の若手会の活性化について
- ③ 今年度「関東良陵会総会開催について」総会開催期日は、平成二十九年六月十七日(土)に決定した。
- ④ 特別講演は、荒井他嘉司先生(昭三十六年卒)に決定した
- ⑤ (本紙二面に要旨掲載)「関東良陵だより」第四十三号発行の内容、原稿依頼について
- ⑥ 会計の状況について・坂間担当幹事より説明
- ⑦ 女医部会の内容について
- ⑧ 田中女医部会担当幹事より、部会開催等について
- ⑨ その他

## 第二十回女医部会開催のお知らせ

主題の女医部会は、平成二十九年七月二十二日(土)午後五時より東京・市ヶ谷私学会館にて開催されます。

今回講演は、岩瀬 光先生(昭和59年卒・本会幹事長)

にお願ひ致しました。

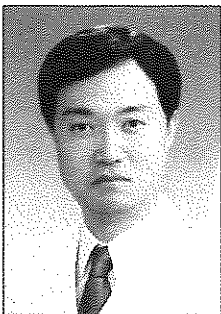
演題は、「医師が直面する医療事故・医療訴訟とリスク回避法」です。

岩瀬先生は、昭和52年に東京大学法学部を卒業後、東北大学医学部に入学された先生で、「眼科専門医」です。

東大在学中より、「医療訴訟の法的かつ医学的側面の研究」を行っておられた事で、講演内容がとてもしみです。お役に立つお話があると思いますので、ぜひ沢山の先生方ご参加を願っております。

(田中佐喜子・女医部会担当)

写真 岩瀬光先生



# アフターデイナー・コンサート

今総会のコンサートは、飯野正光、川名陽子先生（昭五一卒）のご紹介、ご推薦により、サクソフォーン界のプリンス・丹沢誠二さん・ピアノ菅谷詩織さんをお迎え致します。「川の流れるように」「枯葉」「荒城の月」その他、サクソフォーンの魅力を存分に味わえるプログラムとなっております。どうぞご期待を！

## ☆プロフィール・丹沢誠二さん

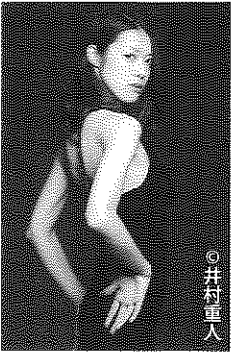
国立音楽大学サクソフォーン専攻卒業、在学中に国立音楽大学ニュータイトドジャズオーケストラに所属。山野ビッグバンドジャズコンテストにおいて三連覇を果たしました。これまでに小曾根真、渡辺貞夫、山下洋輔、本田雅人など著名なアーティストとの共演歴があります。現在はLowland Jazzのメンバーとして、日本コロムビアレコードからメジャーデビュー。また、東京スカパラダイスオーケストラ元メンバーの冷牟田竜之の新ユニットMORE THE MANのメンバーです。他にも、水川きよしのレコーディング参加、華原明美、CuteのMV出演や、矢沢永吉、松崎しげる、真琴つばさ、ももいろクローバーZなどのアーティストと共演。アーティストとして、NHKラジオ「ごらじ」にゲスト出演。役者としては、日レの舞台「カレライフ」やアニメが原作の舞台「ミュージカルスタミュ」に出演し、クラシックからポップスまで幅広く活動している方です。

## ☆プロフィール・菅谷詩織さん（ピアニスト）

昭和音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ演奏家コースを卒業。六歳からピアノを始める。十二歳からサックスを始めサックス専攻として高校入学、二年次にピアノ専攻に転向。現在東京を拠点に全国でピアノと鍵盤ハーモニカでクラシックにおける演奏・指導、ポップスにおいてもアーティストのサポート活動に取り組んでおられます。ピアノを諸角千佳代、多喜晴美室内楽を原さえ、荻島薫の各氏に師事。



写真・丹沢誠二さん



写真・菅谷詩織さん

## 会員情報

### 開業のご挨拶

金谷幸一（平成5卒 本会幹事）

私、昨年十一月に、東京都板橋区で整形外科クリニックを新規開業いたしました。

私が脊髄外科と骨代謝（骨粗鬆症）を専門としてきましたので、屋号に「せほね・骨粗しょう症」とつけました。この名称は全国で初だということです。クリニックの理念は「患者さんと一緒に治療目標を考え二人三脚でやっていきましょう」です。

ロゴマークは知り合いのデザイナーにお願いしたのですが、健康な椎体が知恵の輪になっていました。患者さんとクリニックが力を合わせて問題を解決していくというタリニクスの理念と私の専門としてきたところを具現化してくれたものと満足しています。患者さんの希望を聞いてみると、時にはエビデンスに全くそぐわない治療を望まれる方もありますが、時間をかけて付き合っていくうちに私色に染まってくれるのではないかと期待しています。開業まもない頃、富士山麓病院・院長清水允照先生（昭和43卒）が訪ねてくださり「職員の為に先生が頑張らなくてはいけない」とお声をかけていただきました。クリニックの理念を理解してくれているスタッフに囲まれて楽しく頑張っています。大病院（東京女子医大）や勤務した関連病院とは全く地縁のない開業だったので、患者さんが集まるのかと心配もしていましたが、少しずつ患者さんも増えております。小さなクリニックですが、学会での発表、骨粗鬆症の啓蒙

活動、そして骨折患者さんの減少に尽力したいと思っております。  
☆金谷整形外科 せほね・骨せしょう症クリニック  
住所 〒174-0256 東京都板橋区志村二-1-1 1F  
☎03(39965)5252



写真 金谷整形外科 外観

＊本年度（平成二十九年）年会費  
三千元・総会費（本人一万円）  
「家族一人五千元を同封の振込み用紙により、ご納入をお願い致します。」  
東北大学良陵同窓会  
関東連合会 東京支部  
〒247-10072  
鎌倉市岡本二-1-17 〇四  
TEL & FAX  
〇四六七（四五）〇二八七  
「関東良陵だより」第四十三号  
平成二十九年五月十日発行